

# 取扱説明書

## BIATHLON ATHLETE

ご使用前に本取扱説明書をお読みのうえ、必ずテスト装着を行ってください。

この製品はタイヤへのフィット性を重視しているため、初回の取付けがきつく感じられることがあります。必ずご使用前にテスト装着を行ってください。100m程低速でテスト走行をすと次回から装着が一層楽になります。

弊社ホームページ (<http://www.carmate.co.jp/biathlon/>) にて装着方法をビデオ配信しています。

### はじめに

このたびは、カーメイト非金属チェーン「バイアスロンアスリート」(以下「バイアスロン」といいます)をご購入いただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、「バイアスロン」を正しく安全にご使用いただくために、「バイアスロン」の特徴と取扱方法を説明したものです。

すでに類似の製品をご使用になられた経験をお持ちの方も含めて、「バイアスロン」をご使用になる前に必ずお読みください。お読みになった後は、「バイアスロン」とともに保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことが起きたとき読み返してください。本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書もあわせてお渡しください。また、本書をお読みになられた上でご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。

「バイアスロン」を実際に装着・取外しする際は、裏面の装着説明書・取外し説明書をご覧ください。

### セット内容

まずはじめに、下記のセット物が同梱されているかご確認ください。

- 耐水性 取扱説明書(本書) ..... 1枚  
装着方法・取外し方法を記載しています。耐水性なので濡れた路面で使用しても破れません。
- バイアスロン本体(左右ペア) 本体装着時に左右の区別はありません ..... 1組
- ハンドル ..... 2本  
装着、取外しのときに使用します。2本入りのため、2人で装着・取外しの時に便利です。  
(ハンドルを紛失した時は購入店でご注文、もしくは弊社サービスセンターにてお買い求めいただけます)
- 軍手付き腕カバー(左右ペア) 装着、取外しの時に腕にはめて使用します。 ..... 1組
- 愛用者カード ..... 1枚
- 認定のしおり ..... 1枚

CARMATE 株式会社カーメイト

### 3. 取扱上の注意事項

危険性に関する警告は、次の2段階に区分して表示してあります。

- ▲ **警告** 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
- ▲ **注意** 注意事項を守らないと、けがを負ったり、製品・車両が損傷するおそれがあります。

#### 1 装着に関する安全情報

- ▲ **警告** 「バイアスロン」は両輪に装着してご使用ください。  
● 片輪だけに装着して走行すると走行安定性が低下し自動車がコントロールを失うおそれがあります。
- ▲ **警告** 装着・取外しは安全な場所で行ってください。  
● 特に高速道路の路肩等での装着・取外しは死傷事故を引き起こすおそれがあり大変危険です。チェーン脱着所など安全な場所で装着・取外しを行ってください。
- ▲ **警告** ロックやフックが全て確実に装着してあることを確認してください。  
● 装着が不完全なまま走行するとバイアスロンが切れたり外れたりするおそれがあります。
- ▲ **警告** 切れたり、金属部分の変形した「バイアスロン」は使用しないでください。  
● 切れたり、金属部分が変形したままのものを使用するとバイアスロンが外れるおそれがあります。
- ▲ **注意** 駐車時は必ず輪止め等で車が動かないように処置してください。  
● FF車(前輪駆動車)の多くは、ブレーキのかかる後輪にバイアスロンが付いていないためサイドブレーキによる車の静止ができません。ギアを入れたり(AT車はPレンジ)に輪止めをしてください。
- ▲ **注意** 装着作業中に同乗者が乗り降りすると、タイヤとタイヤハウスの間に手をはさむことがあるので注意してください。

#### 2 装着時の走行に関する安全情報

- ▲ **警告** 「バイアスロン」を装着しての走行は、通常の走行に比較し走行安定性が低下します。雪路・非雪路にかかわらず「安全にコントロールできる速度」で走行してください。  
● 安全にコントロールできる速度とは…  
乾燥路・圧雪路・凍結路・融雪路等々の様々な路面状況で、あなた自身が安全に走行できる範囲の速度のことです。「バイアスロン」は「平坦路を時速50km/hで走行した場合、雪路・非雪路を問わず約1,000kmの耐久性を有しております」が、ここでの時速50km/hは耐久性を示す指標であり、「安全にコントロールできる速度」の意味ではありません。あくまで路面の状況に合わせて、「安全にコントロールできる速度」で走行してください。  
● 時速50km/h以上で走行すると、製品の耐久性が急激に低下します。  
● 時速50km/h以上で走行すると、直進性が悪くなりフラツキが発生し最悪コントロール不能になる場合があります。  
● 時速50km/h以上で走行すると、製品が膨らみタイヤハウス内やサスペンション等にも干渉し車両も破損するおそれがあります。  
● 特に高速道路を走行中は、周囲の車に流されて「知らないうちのスピードオーバー」傾向になりますので、ご注意ください。
- ▲ **警告** スリップ事故は、雪路・非雪路にかかわらず突然に発生します。  
● 事故につながる条件全てを本書にて説明することは出来ません。雪路・非雪路にかかわらず余裕を持ち「安全にコントロールできる速度」で走行してください。また、「知らないうちのスピードオーバー」を防ぐためスピードは常に確認してください。
- ▲ **警告** 「急発進」・「急加速」・「急ブレーキ」・「急ハンドル」など「急」のつく運転操作は絶対に避けてください。  
● トレッドやロック部、フックなどに無理な力がかかり寿命の低下や破損の原因となります。  
● 雪のない路面での「急」操作は瞬間的にトレッドを摩耗させ、使用不能の原因となります。
- ▲ **警告** 連続空転(ホイールスピン)は絶対に避けてください。  
● 特にエンジンの馬力が大きい車などは、少しだけアクセルを踏んだつもりでも急に大きな駆動力がかかり、空転してしまうためバイアスロンに大きな負担がかかることがあります。  
● 車が進まないときは要注意!!いったんアクセルを戻してMT車はシフトレバーを2速に入れ、AT車はスノーモードを使用して可能な限りゆっくりと発進させましょう。



- ▲ **警告** 雪がなくなったら、速やかに「バイアスロン」を取外してください。  
● 雪や凍結がない乾燥路が続くときは、チェーン本体に路面との摩擦熱が溜まり、接地部やスパイクピンを傷めたり、チェーン本体のスパイクピンで横滑りを起こしやすいので、危険防止とチェーン本体及び路面保全のためにも取外ししましょう。
- ▲ **警告** ご使用中はときどき装着状態を確認し、ロックやフックが全て確実に装着してあることを確認してください。  
● 装着が不完全になるとバイアスロンが切れたり外れたりするおそれがあります。
- ▲ **注意** 「バイアスロン」を装着している時は、深雪を走行しないでください。  
● 滑り止めに付けていても一定以上の深雪は走れません。無理に深雪に入ると脱出不可能となる場合があります。  
● 深雪中の無理な走行は空転を招き寿命の低下につながります。またタイヤからの外れが起きますので、ご注意ください。
- ▲ **注意** 「バイアスロン」を装着している時は、非舗装路(オフロード)を走行しないでください。  
● バイアスロンが切れたり、外れやすくなります。

「バイアスロン」の使用にあたっては、本書の第1章「安全」の章に特に重要な情報が含まれています。また、以下の説明をご理解いただいた上で本書による指示/警告を守って、より一層の安全運転を行う必要があります。

「バイアスロン」は、自動車のタイヤに装着して使用しますが、使い方を誤ると自動車をコントロールすることができなくなって、死傷事故や物損事故を引き起こすおそれがあります。また、状況によってはタイヤとバイアスロンとが空転して同様の事態を招いたり、車体を傷つけることもあります。

## 第1章 安全

### 1. 安全上の注意事項

「バイアスロン」の取扱いにあたっては、この取扱説明書をよく読んで指示に従ってください。「バイアスロン」には装着してはいけない車種およびタイヤがあります。車の取扱説明書もよくお読みのうえでご使用ください。「バイアスロン」の取扱いは、装着・取外し・保管に大別できます。初めてご使用になるときは事前にテスト装着を行って、100~200m程度のならし走行を行ってください。当社にとって起こりうるすべての事態を想定することは困難ですが、知り得る限りの危険性について本書に記載しました。

### 2. 安全な走行方法

#### ● スリップとスピンの注意

「バイアスロン」は車両の駆動輪に装着し、通常のタイヤでは走行不可能な雪路や凍結路を走行可能にするための補助器具です。一方、「バイアスロン」を装着していない方のタイヤは雪路や凍結路の上でのグリップ力が低下するため、前後のグリップ力のバランスが崩れてしまいます。このため、路面の状況に応じた運転をしないと通常乾燥路を「バイアスロン」装着なしで走行した時には考えられないスリップやスピンを起こすことがあります。

また「バイアスロン」装着時の走行では、乾燥路・雪路・融雪路・アイスバーン等々の路面状況はさまざまに変化します。一見安全と思える路面でも突然のアイスバーンの出現など、突如としてコントロール不能になる場合もあります。常に路面の状況と周囲の状況に注意して走行してください。

#### ● 上り坂ではゆっくり発進

上り坂では、駆動力をかけ過ぎると「バイアスロン」が空転してしまいます。アクセルをできるだけ軽く踏み、車が動きはじめたらそのままの速度でゆっくりと発進してください。

#### ● アイスバーン上では十分徐行する

「バイアスロン」は滑り止めのトレッドと超硬マカロニスパイクピンによるグリップにより雪路を走行可能にしています。アイスバーンの上ではこのグリップ力が大幅に低下しスリップする危険性があります。アイスバーンの上を走行するときは十分スピードを落とし、ハンドルをしっかり握り走行してください。

#### ● 半融雪(シャーベット)上では低速で走行する

シャーベットの上ではシャーベットはすぐ崩れるためグリップ力が弱くなり滑りやすくなります。シャーベットの上を走行するときは、アイスバーン同様十分スピードを落とし、ハンドルをしっかり握りできるだけ低速で走行してください。

#### ● 車の挙動が駆動方式の違いにより、大きく異なります。駆動方式による特性を理解の上、運転してください。

#### ● スノーモードに切替えることができる場合は、スノーモード状態で走行してください。

スノーモードにつきましては、車備え付けの取扱説明書をご覧ください。

### 4. 駆動方式と車両の挙動

#### FF車(前輪駆動車)



#### 直進 突然の尻振りにご注意ください!

FF車は滑り止めに装着していない後輪が滑りやすくなります。直進中でも雪質や路面の凹凸やわだかまなどによってバランスを崩し、スピンすることがあります。

FF車は下り坂や減速時は車の重心が前方へ移動しさらに、後輪が滑りやすくなります。下り坂や停止する場合はその手前で十分に減速しておきましょう。

#### カーブ カーブの手前で十分減速!

FF車は前輪に抵抗がかかった状態でコーナーリングすると直進時と同様、後輪が滑りやすくなります。カーブの途中でブレーキを踏んだり、急にアクセルを戻したりするとスピンすることがあります。

カーブに入る手前で十分にスピードを落とし、アクセルを一定に保ちながら、ほぼ一定のスピードが、わずかに加速するくらいの感じで曲がるのが安全です。

#### ブレーキ ボンピングブレーキを使おう!

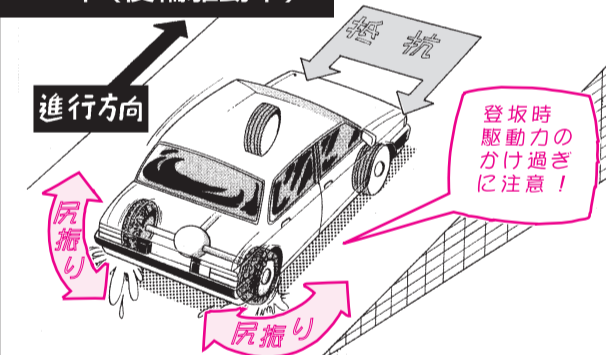
FF車は直進状態でもブレーキを軽く踏み(半踏み)操作をすると、後輪がロックし、急にグリップが失われてスピンすることがあります。

ブレーキは「強く踏み→すく離す」を短いピッチで何度も繰り返すボンピングブレーキが効果的です。

#### もし滑ってしまったら……

● 後輪がもし滑った場合は、後輪が滑った方向へすばやくハンドルを切り込みます。(カウンターステア)この時あわてて急ブレーキをかけたらずかえてスピンする可能性があります。FF車は駆動力のかかった状態が安定していますので、いくぶんアクセルを踏み込みながら立て直した方がよいのです。

#### FR車(後輪駆動車)



#### 直進 加速時、登坂時の尻振りにご注意ください!

FR車は駆動力をかけすぎると後輪が左右に振れる現象が起こります。特に登坂時やハイパワーな車ほどこの現象は大きい傾向があり、立て直しが遅れるとスピン状態になることがあります。

急なアクセル操作や無用なギヤチェンジを避け、できるだけスムーズな加速・登坂をすることが大切です。

#### カーブ 前輪のグリップにご注意!

FR車は滑り止めに装着していない前輪が滑りやすくなります。カーブにオーバースピードで進入するとハンドルを切っても、車はほとんど曲がらずにそのまま突っ込む危険があります。

カーブに入る前に十分スピードを落とし、心もちエンジンブレーキをかけながら曲がるのが、安全な方法です。カーブの途中でブレーキを踏むと前輪をロックさせ、かえって曲がれなくなります。

#### ブレーキ ボンピングブレーキとエンジンブレーキを使おう!

FR車はブレーキを軽く踏み(半踏み)操作をすると、前輪だけがロックし、操縦不能になることがあります。

ブレーキは「強く踏み→すく離す」を短いピッチで何度も繰り返すボンピングブレーキを使い、前輪が回転した状態でハンドルを操作してください。また、エンジンブレーキで後輪に制動力をかけてください。

#### もし滑ってしまったら……

● FR車で登坂中や加速時に後輪が左右に振れたらまずアクセルを戻し、大きく振れた場合は、アクセルを戻すと共にすばやく振れた方向へハンドルを切り込み(カウンターステア)、姿勢を立て直してください。  
● 前輪が滑って操縦不能になった場合は、ブレーキを踏み続けるとコントロールはできません。ブレーキを離すとコントロールできる場合があります。

#### 4WD車(4輪駆動車)

#### 飛ばし過ぎにご注意!



4輪駆動車は雪道に強いと言われていますが、その性能を過信することは危険です。FF車やFR車に比べ滑り出すまでの限界が高いことは事実ですが、その限界を越えて操縦不能になる際のスピードはFF車やFR車よりはるかに高いので、一般のドライバーの方には立て直しが全くできずに事故につながることを覚えておかなければなりません。

#### タイヤチェーン装着車輪は?

- 車種により異なる場合がありますので、車備え付けの取扱説明書に従ってください。
- 4輪駆動と2輪駆動の切替式車では、4輪駆動状態で走行する事をおすすめします。
- 4輪駆動状態で前後共に装着可能な場合には、前輪に装着する事をおすすめします。